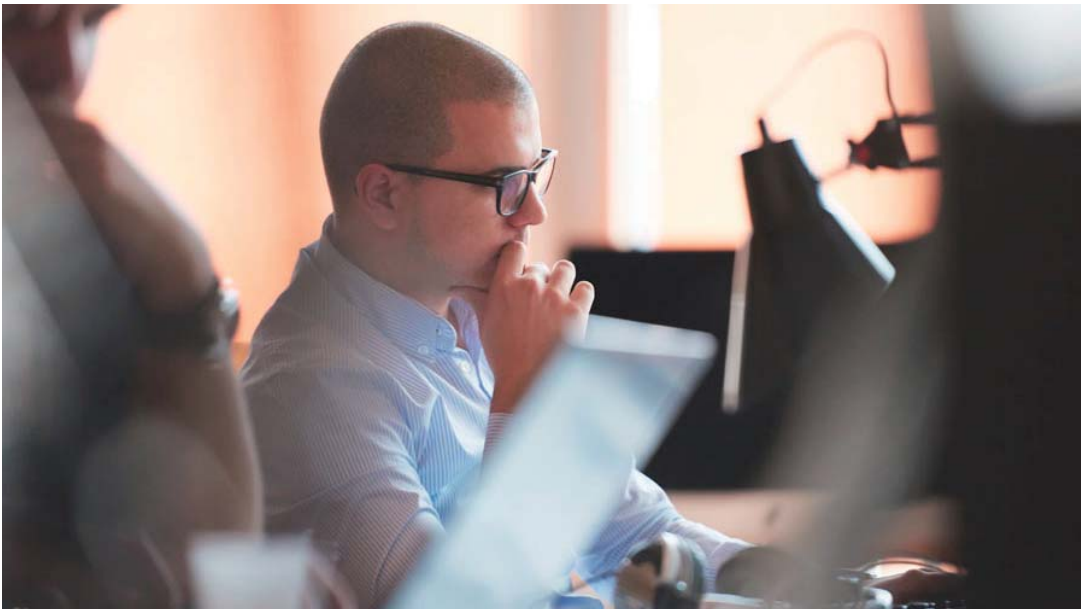


SAP、次世代のクラウドアプリケーションを稼働する基盤としてLenovoを選択

Lenovo™



概要

SAPの新しいクラウドベースのソフトウェアは、膨大な数の企業に恩恵をもたらしている一方、SAPは、ハイパフォーマンスなアプリケーションを常時稼働で確実にお客様に提供することが求められるようになってきました。SAPは、インテル® Xeon® プロセッサ・ファミリーを搭載したLenovoシステムを導入することで、社員の生産性を維持し、世界中の顧客企業に次世代のクラウドアプリケーションを提供しています。

スタイリッシュなデバイスからエンタープライズレベルの信頼性にいたるまで、ITインフラのすべての部分で、SAPにとってLenovoは重要なパートナーです。

SAP SE CIO (最高情報責任者) **Thomas Saueressig氏**

ドイツのヴァルドルフに本社を置き、世界130カ国に展開しているSAP SEは、企業の基幹業務や顧客管理を支えるアプリケーションの開発元として広く知られています。約31万社もの企業が、SAPのソフトウェアを導入し、業務プロセスの合理化、作業の効率化、ビジネスの詳細分析に活用しています。

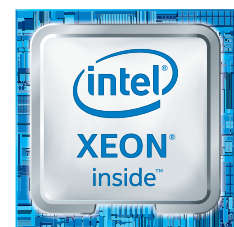
SAP SEのCIO (最高情報責任者)、Thomas Saueressig氏は次のように言います。「クラウドベースのSAPソリューションを選ぶお客様が増えるにしたいが、SAP自体のインフラには大きな負荷がかかってきています。常時稼働のハイパフォーマンスなサービスを確実に提供する必要がありますから。余裕をもって需要に対応できるサービスを実現するためには、優れたキャパシティを持つ堅牢でスケーラブルなソリューションが必要です。それがあってこそ、ビジネスクリティカルなアプリケーションを効率的かつ効果的にお客様に使っていただくことができます」

クラウドとモバイルの課題

今や、企業の業務形態は昔とは一変しています。自宅、オフィス、出先を隔てる壁は曖昧になりました。ビジネスパーソンは、モバイルデバイス、タブレット、ノートパソコン、デスクトップパソコンを適宜シームレスに使い分けながら仕事を進めたいと考えており、どこにいても、会社のリソースやツールにアクセスしたいと望んでいます。

SAPのThomas Saueressig CIOは次のように言います。「当社のビジョンは、SAPを完全なるデジタルエンタープライズへと変貌させることです。社員が使うデバイス、コラボレーションツール、ネットワークなど、SAP社員が接点を持つあらゆるものがその対象となります」

「ワークフローが少しでも途切れたら、パフォーマンスに支障が生じます。何十万台のモバイルデバイスを利用している当社としては、信頼性、パフォーマンス、レスポンスタイムのすべてを高いレベルに保つことが必要です。たとえば、社員が仕事に忙殺されている中で、データを取得する際に3~4秒の待ち時間が生じたとしたら、失われるのはその数秒だけではありません。本人はまず間違いなく、その間に何か別のことを考え始めるはず。こうなったときに、いったん切れた集中力を取り戻して、生産性の高い仕事に戻るまでを考えると、損失は数秒分にはとどまりません。SAPの規模の企業になると、ごくわずかな変化といえども、重大な影響が生じることがあるのです」



Intel Inside®
パワフルなデータセンターを
インテル® Xeon®
プロセッサ搭載

「また、ユーザーエクスペリエンスそのものも極めて重要です。今は、固定席で仕事をする時代ではありません。出先で仕事をしたり、ワークショップに参加したり、即席でミーティングを開いたりしています。その際に使うデバイスは、社員の業務スタイルに合っていないことはありません。バッテリー駆動時間が長いことや、パフォーマンスが優れていることはもとより、手にしたときの満足感や、使い勝手のよさも求められます」

一方で、SAPの顧客企業は、従来型のオンプレミスのソリューションからクラウドサービスへの移行を進める中で、これまでにない柔軟性を求めています。SAPのクラウドソリューションを活用する企業が期待するのは、ハイパフォーマンスで堅牢な常時稼働のアプリケーションです。また、新たなニーズが生じたときにいつでも規模を拡大できるキャパシティも求めています。

SAPでクラウドインフラストラクチャサービス担当の上級副社長を務めるMartin Heisig氏は次のように言います。「社内のユーザーと社外のお客様の両方に対して、卓越したサービスを提供するのは、簡単なことではありません。何にも増して大切なのは、年間3桁成長を見せるSAPのクラウドのお客様を管理しながらも、社内のオンプレミスソリューションとクラウドベースのアプリケーションを確実に常時稼働すること、信頼性の高いサービスを安定して提供することです」

「加えて、SAPのIT部門は、TCO（総所有コスト）の目標を満たしつつ、キャパシティとスケーラビリティを常に確保していかなくてはなりません。SAP自身も、お客様とまったく同じように、効率と成果を高める方法を絶えず探り、業務コストを抑えながら最善のサービスを提供する方法を考えています。TCOの削減は、当社のサーバープラットフォームや運用管理のほか、ITインフラのすべての要素に関係してきます」

社内用SAP S/4HANA®システムを稼働するためのプラットフォームとして Lenovoを選んだ理由は、非常に信頼性と安定性が高かったからです

TCOに関しても、優れた価格性能比や、運用コストの削減という面で、
Lenovoは群を抜いています。Lenovoのサーバーは、先進的な管理ツールを使って、
サーバー環境のオーケストレーション、最適化、管理を実行でき、
管理作業の手間とコスト削減に貢献しています

SAP SEクラウドインフラストラクチャサービス担当上級副社長 **Martin Heisig氏**

ノートパソコンからサーバーまで、エンドツーエンドのソリューション

このように、重要なニーズの数々を併せ持つSAPがITインフラ全体のよりどころにしているのが、Lenovoのシステムとテクノロジーです。オンプレミスとクラウドベースのSAPアプリケーションは、インテル® Xeon® プロセッサー E5 ファミリーと、インテル® Xeon® プロセッサー E7 ファミリーを搭載したLenovoサーバーで稼働しています。また社員には、インテル® Xeon® プロセッサー E5 ファミリーとインテル® Core™ プロセッサー・ファミリーの最新プロセッサーを搭載したLenovoのデスクトップパソコン、ノートパソコン、タブレットを支給しています。

SAPが導入したサーバーは、Lenovo System x3550 M5、x3650 M5、x3850 X6、x3950 X6です。それぞれキャパシティが異なり、日常的な業務処理から、エンタープライズ規模のハイパフォーマンスなプラットフォームまで、全体をカバーしています。また、コンピューティング、ストレージ、ネットワーク、管理のコンポーネントを一体化した、Lenovo Flex Systemも利用しています。Lenovo Solution for SAP HANA®も含めて、SAPのビジネス全体をLenovoのサーバーが支えています。

また、各社員が使用するデバイスに関して、Thomas Saueressig氏は次のように言います。「当社の社員は常にモバイルで業務を行っています。速度が遅い安物のデバイスを導入した結果、社員のニーズに対応できなくなったら最悪です。ましてや、社員が別のビルへ移る際の天候にすら左右されるとなったら手に負えません」

「ノートパソコンを社員が業務に使う標準デバイスとしている当社としては、品質への投資は極めて重要です。さらに現在では、見た目や使用感の重要性が格段に高まっています。社員に受け入れてもらえるかどうか、そしてその満足度と生産性を大きく左右します。Lenovoの生産品質、信頼性、パフォーマンスは、SAPのお客様に効率的かつ効果的にサービスを提供する面でも、社員の満足度と生産性を維持する面でも、当社のニーズを満たしています」

SAPが膨大な数の顧客企業に向けて提供するクラウドサービスは、インテルテクノロジーを基盤とするLenovoサーバー上にホスティングされ、キャパシティに優れた堅牢でスケーラブルなサービスを実現しています。顧客企業は、サブスクリプション方式のクラウドサービスならではの恩恵を得ることができ、基盤となるアプリケーションやインフラの管理をすべてSAPのチームに任せることができます。クラウドサービスプロビジョニングにおいて、アプリケーションの可用性、信頼性、パフォーマンスの責任はすべてSAPが負うこととなります。それだけに、インフラとして最善のプラットフォームを選択することは、SAPにとっても極めて重要なのです。

Martin Heisig氏はその背景についてこう説明します。「超巨大企業たちが、既存のSAP環境の大部分をクラウドに移行しつつあります。SAPは、こうした企業が利用するミッションクリティカルなアプリケーションやソリューションを提供しているのです。したがって、SAPソリューションが使えなくなったら、お客様のビジネスがすぐに止まってしまいます。たとえば、自動車メーカーのアプリケーションが停止したら、大混乱が生じかねません。数多くのパートナー企業がジャストインタイム方式の精緻な工程でサプライチェーンを構成していることが多い自動車業界では、1カ所の停止が上流にも下流にも影響を及ぼすからです。だからこそ、我々は常にお客様の目線で自社のサービスを捉えるよう努めています」

「障害が起きた場合に生じるのは、金銭的な損失だけではなく、サービスの質が下がり、信用も失われます。Lenovoのサーバーは非常に安定していて、高い信頼性があります。これはもちろん、当社にとって極めて重要です。また、Lenovoの柔軟でスケーラブルなアーキテクチャは、急成長を続ける当社のクラウドサービスを支えてくれています」

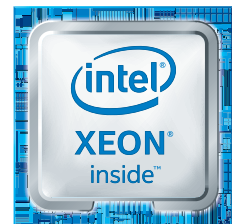
Lenovo™

ソリューションの構成要素

SAPの社内業務システム、アプリケーション開発、クラウドサービスで利用している製品:
Lenovo System x3550 M5/x3650 M5/x3850 X6/x3950 X6、Lenovo Flex System、Lenovo Solution for SAP HANA® (それぞれインテル® Xeon® プロセッサー E5/E7 ファミリーを搭載)
Lenovo XClarity
Lenovo Networking
Lenovo Storage
Lenovo Professional Service

SAPの社内クライアント、社員向けシステム、モバイルデバイス:

Lenovo ThinkPad T440p/T540p/T450/T550/W541/X1 Carbon/Yoga/Helix、ThinkCenter、ThinkStation (それぞれインテル® Xeon® プロセッサー E5 /インテル® Core™ プロセッサー・ファミリーを搭載)



Intel Inside®
パワフルなデータセンターを
インテル® Xeon®
プロセッサー搭載

「社内用SAP S/4HANA®システムを稼働するためのプラットフォームとしてLenovoを選んだ理由は、非常に信頼性と安定性が高かったからです。また、TCOに関しても、優れた価格性能比や、運用コストの削減という面で、Lenovoは群を抜いています。Lenovoのサーバーは、先進的な管理ツールを使って、サーバー環境のオーケストレーション、最適化、管理を実行でき、管理作業の手間とコスト削減に貢献しています」



現在SAPでは、非常に多くのLenovo製品を展開しており、これは当社の戦略の一環となっています。常に優れたエクスペリエンスを実現し、お客様に対するSLAを満たすという部分で、サーバーからノートパソコンまで、SAPはさまざまな面でLenovoに支えられています

SAP SE CIO (最高情報責任者) Thomas Saueressig氏

リアルタイムでサービスを提供

SAPのインフラにかかる負荷が増している要因として、SAP HANAの導入が急速に増えているという点も挙げられます。SAP HANAは、インメモリーデータベース技術を使って、大量のデータに対する高度な分析をほぼリアルタイムで処理できるプラットフォームです。通常、インメモリーデータベース技術では、基盤のサーバーに特有の負荷がかかります。こうした問題に対処するために、Lenovo、SAP、Intelの3社が協力し、それぞれのテクノロジーを強みに組み合わせました。たとえば、ミッションクリティカルサーバーのLenovo X6は、インテル® Xeon® プロセッサー E7 ファミリーが提供しているIntel Hyper-Threading TechnologyとIntel Transactional Synchronization Extensionsの技術を生かして、優れたパフォーマンスを実現しています。さらに、Lenovo X6のRAS機能は、障害予知、Light Path診断、ホットスワップ対応などを提供しています。こういった機能が、SAP HANAのビジネスクリティカルアプリケーションで優れた可用性を実現し、アップタイムを極限まで高めているのです。

Martin Heisig氏はこう言います。「インテルの新しいプロセッサー・ファミリーに移行する際には、Lenovoは優れたフィードバックと協力体制を確立し、先手を打って問題に対処しています。SAPのすべての環境でアップタイムが向上したのは、Lenovoサーバーの設計とアーキテクチャのおかげです」

SAPは、Lenovoとの関係構築を引き続き推進し、顧客対応や業務効率化を支え、ミッションクリティカルなサーバー側のソリューションや各社員が業務で使うアプリケーションの稼働に活かします。

Thomas Saueressig氏は次のように言います。「当社は現在、Lenovo ThinkPad X1 Yogaの評価を進めています。社員たちは、常に出先を飛び回り、お客様を訪問しています。薄型軽量でモバイル指向の製品は、こうした社員の業務パターンにうまく合います。一方、財務担当の社員であれば、もっと画面が大きい据え置き型のデスクトップパソコンの方がよいと言うかもしれませんし、あるいは、ドッキングステーションが付いたノートパソコンを希望するかもしれません。そこで当社は、社員が自らのニーズにぴったり合ったLenovo製品を選ぶようなカタログを用意しています」

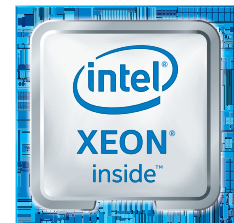
「現在SAPでは、非常に多くのLenovo製品を展開しており、これは当社の戦略の一環となっています。常に優れたエクスペリエンスを実現し、お客様に対するSLAを満たすという部分で、サーバーからノートパソコンまで、SAPはさまざまな面でLenovoに支えられています」

「Lenovoのサーバーやシステムは、新しいビジネスモデルの実現や、プロセスの最適化と併せて、社員に最先端の作業環境を提供してくれています。スタイリッシュなデバイスからエンタープライズレベルの信頼性にいたるまで、ITインフラのすべての部分で、SAPにとってLenovoは重要なパートナーです。これこそが、素晴らしいパートナーシップに関して伝えたいポイントです」

詳細情報

Lenovoのデータセンターシステムの詳細については、<http://www.lenovojp.com/business/solution/product/server/> をご覧いただくか、Lenovoの営業担当者またはビジネスパートナーへお気軽にお問い合わせください。

SAPの詳細については、<http://www.sap.com/japan/index.html> をご覧いただくか、@SAPをフォローしてください。



Intel Inside®
パワフルなデータセンターを
インテル® Xeon®
プロセッサー搭載

Lenovo 製品についてのお問い合わせ・資料請求

レノボ・ジャパン株式会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX

☎ **0120-68-6200** 受付時間:月曜日～金曜日 9:00～17:30
(土、日、祝日、5月1日、12月30日～1月3日を除く)

✉ hojin_jp@lenovo.com

🌐 <http://www.lenovojp.com/business>

Lenovo、レノボ、レノボロゴ、ThinkCentre、ThinkPad、ThinkStation、ThinkServer、New World New Thinking、ThinkVantage、ThinkVision、ThinkPlus、TrackPoint、Rescue and Recovery、UltraNavは、Lenovo Corporationの商標。 Microsoft、Windows、Windowsロゴ、Windows Vista start button、Windows Aero、Windows BitLocker、Windows HotStart、Windows Live、Windows Media、Windows ReadyBoost、Windows ReadyDrive、Windows Server、Windows SideShow、Windows SuperFetch、Windows Vista、DirectX、Internet Explorer、Xbox 360、Excel、InfoPath、OneNote、Outlook、PowerPoint、Visio、Officeロゴ、IntelliMouse は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。 Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel Atom、Intel Atom Inside、Intel Core、Core Inside、Intel vPro、vPro Inside、Celeron、Celeron Inside、Itanium、Itanium Inside、Pentium、Pentium Inside、Xeon、Xeon Phi、Xeon Inside、UltraBook は、アメリカ合衆国および/またはその他の国における Intel Corporationの商標です。他の会社名、製品名、サービス名等は、それぞれ各社の商標または登録商標。

●広告内容は、2017年1月時点の情報です。※製品や価格等は事前の予告なく変更される場合があります。※製品写真はイメージです。出荷時のものと異なる場合があります。※ダイレクト価格は、直販による提供価格であり、ビジネス・パートナー様などの再販者の販売価格を拘束するものではありません。

Lenovo

レノボ・ジャパン株式会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目14番1号 秋葉原UDX